

# 第123回 岐阜市管内景況調査報告書(平成23年1～3月期)

## 【調査要領】

- 1 対象期間 平成23年1～3月、平成23年4～6月期の見通し(平成23年3月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数92社、回収率87%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表 (「増加・好転」－「減少・悪化」)

## 管内景況の概要(業種全体)

今期(平成23年1～3月期)の管内中小企業の景況を見ると、従業員DI以外はマイナス幅が縮小した。特に業況DIと資金繰りが改善しマイナス幅が縮小した。

来期(平成23年4～6月期)の景況予想は、売上DIのみマイナス幅が縮小するが、他すべての項目のマイナス幅が拡大する見通し。

## 全業種

(前年同期比)

	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
22年 1～3実績	△ 56.4	△ 53.1	△ 36.7	△ 58.7	△ 53.1	△ 8.6
4～6実績	△ 62.5	△ 50.0	△ 42.4	△ 54.2	△ 36.6	1.5
7～9実績	△ 58.1	△ 47.2	△ 48.1	△ 54.1	△ 38.3	△ 4.3
10～12実績	△ 59.8	△ 51.9	△ 42.3	△ 56.8	△ 43.4	△ 10.2
23年 1～3実績	△ 43.2	△ 51.8	△ 33.3	△ 51.9	△ 33.7	△ 13.4
23年 4～6予想	△ 52.7	△ 49.4	△ 37.3	△ 58.0	△ 37.5	△ 16.4

## 1. 業況

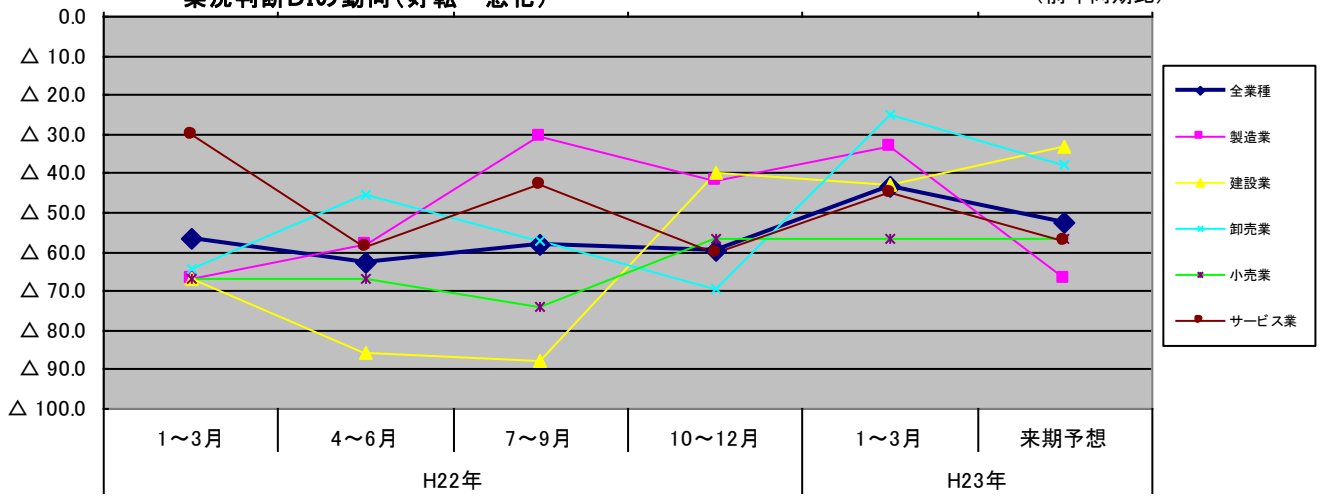
全業種のDI値は、△43.2と前期(△59.8)に比べると16.6ポイントマイナス幅が縮小し改善した。来期は、今期より悪化すると予想される。

業種別にみると、卸売業のマイナス幅が大幅に縮小し改善した。小売業は悪化が目立ち、依然として厳しい状況である。

	業況判断DI(「好転」－「悪化」)				(前年同期比)	
	H22年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	H23年 1～3月	来期予想
全業種	△ 56.4	△ 62.5	△ 58.1	△ 59.8	△ 43.2	△ 52.7
製造業	△ 66.7	△ 58.4	△ 30.8	△ 41.7	△ 33.3	△ 66.7
建設業	△ 66.7	△ 85.7	△ 87.5	△ 40.0	△ 42.9	△ 33.3
卸売業	△ 64.3	△ 45.5	△ 57.2	△ 69.2	△ 25.0	△ 37.5
小売業	△ 66.7	△ 66.7	△ 74.2	△ 56.7	△ 56.7	△ 56.7
サービス業	△ 30.0	△ 58.8	△ 42.8	△ 60.0	△ 45.0	△ 57.1

業況判断DIの動向(好転-悪化)

(前年同期比)

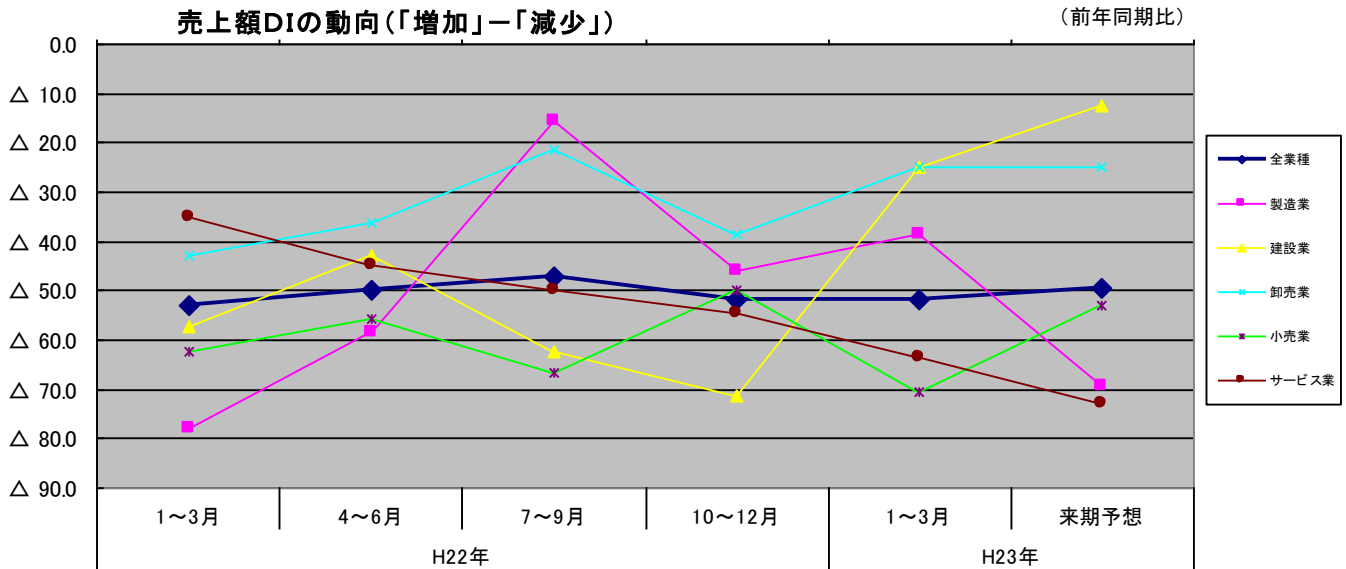


## 2. 売上(加工)額

全業種のDI値は、△51.8と前期(△51.9)とほぼ変化なし。来期はやや改善する見込み。

業種別では、製造業、建設業、卸売業のマイナス幅が減少し改善した。来期は建設業、小売業が改善するものの、製造業が大幅に悪化する見通し。

	売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H22年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	H23年 1~3月	来期予想
全業種	△ 53.1	△ 50.0	△ 47.2	△ 51.9	△ 51.8	△ 49.4
製造業	△ 77.8	△ 58.4	△ 15.4	△ 46.1	△ 38.4	△ 69.2
建設業	△ 57.1	△ 42.8	△ 62.5	△ 71.4	△ 25.0	△ 12.5
卸売業	△ 42.8	△ 36.3	△ 21.5	△ 38.4	△ 25.0	△ 25.0
小売業	△ 62.5	△ 55.9	△ 66.7	△ 50.0	△ 70.6	△ 53.0
サービス業	△ 35.0	△ 45.0	△ 50.0	△ 54.5	△ 63.6	△ 72.7

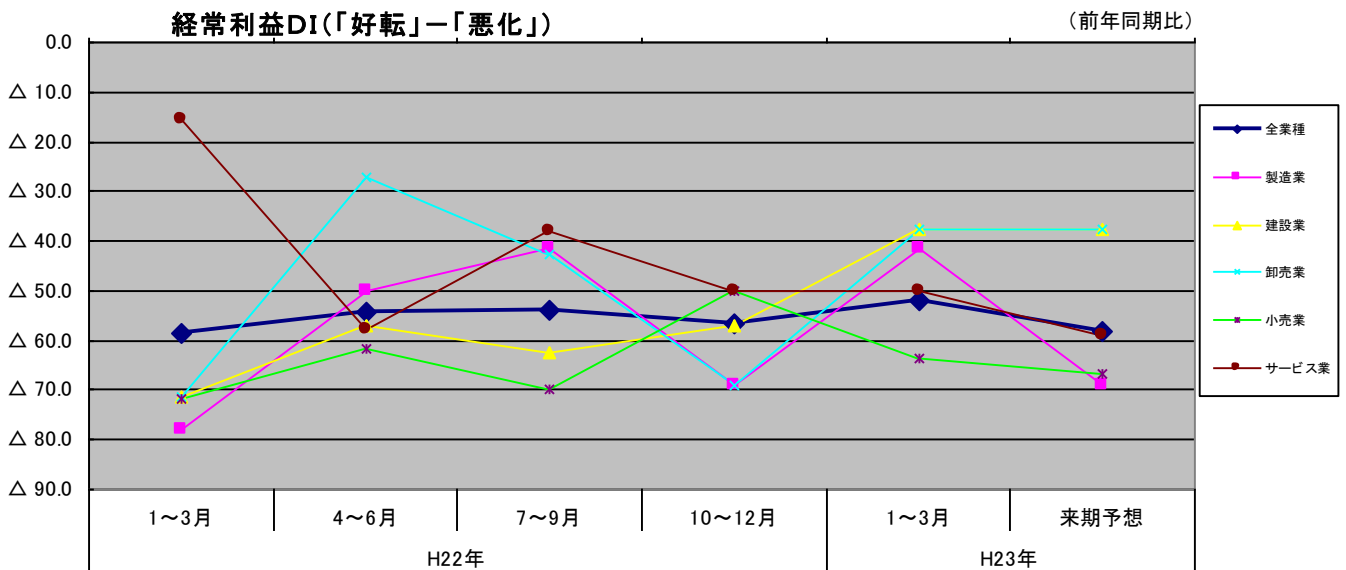


## 3. 採算(経常利益)

全業種のDI値は、△51.9と前期(△56.8)に比べ4.9ポイントマイナス幅が縮小した。来期は今期より悪化すると予想される。

業種別では、製造業と建設業、卸売業の大幅な改善がみられた。一方、小売業はマイナス幅が拡大し悪化している。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H22年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	H23年 1~3月	来期予想
全業種	△ 58.7	△ 54.2	△ 54.1	△ 56.8	△ 51.9	△ 58.0
製造業	△ 77.8	△ 50.0	△ 41.6	△ 69.2	△ 41.7	△ 69.2
建設業	△ 71.4	△ 57.1	△ 62.5	△ 57.1	△ 37.5	△ 37.5
卸売業	△ 71.4	△ 27.3	△ 42.8	△ 69.2	△ 37.5	△ 37.5
小売業	△ 71.9	△ 61.7	△ 69.7	△ 50.0	△ 63.6	△ 66.7
サービス業	△ 15.7	△ 57.9	△ 38.1	△ 50.0	△ 50.0	△ 59.1

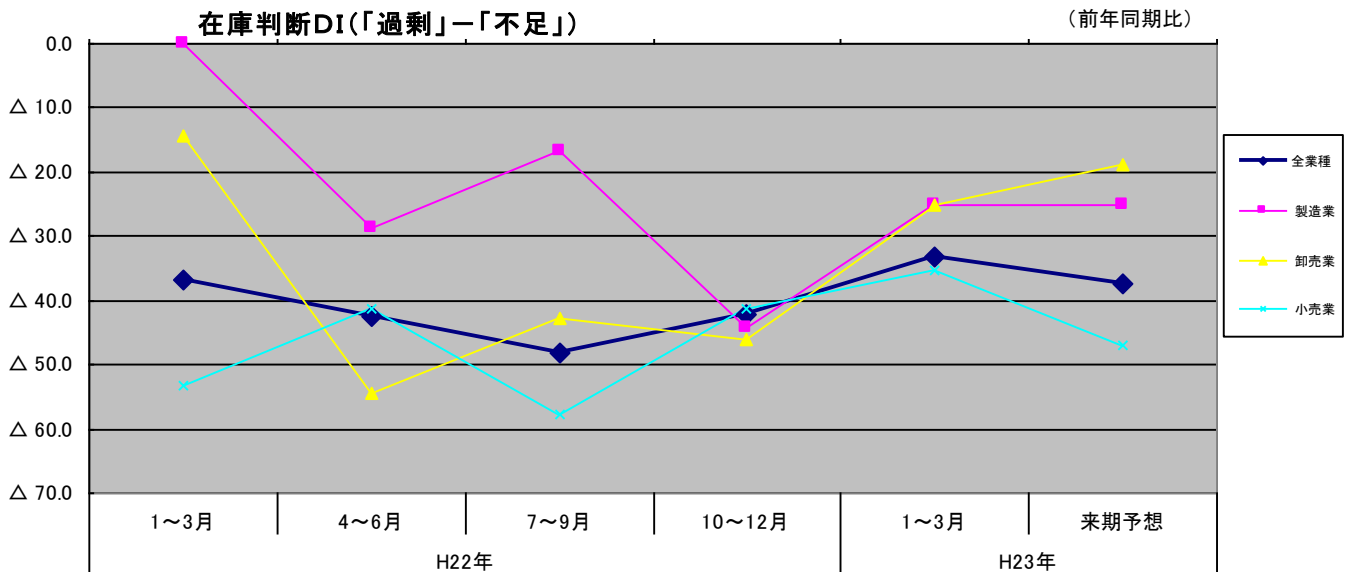


#### 4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△33.3と前期(△42.3)に比べマイナス幅が9.0ポイント縮小した。来期は、今期よりマイナス幅が拡大すると予想される。

業種別では、全業種においてマイナス幅が縮小している。

	在庫判断DI (「過剰」-「不足」)				(前年同期比)	
	H22年				H23年	来期予想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
全業種	△ 36.7	△ 42.4	△ 48.1	△ 42.3	△ 33.3	△ 37.3
製造業	0.0	△ 28.6	△ 16.7	△ 44.4	△ 25.0	△ 25.0
卸売業	△ 14.3	△ 54.5	△ 42.9	△ 46.2	△ 25.0	△ 18.7
小売業	△ 53.2	△ 41.2	△ 57.6	△ 41.2	△ 35.3	△ 47.1

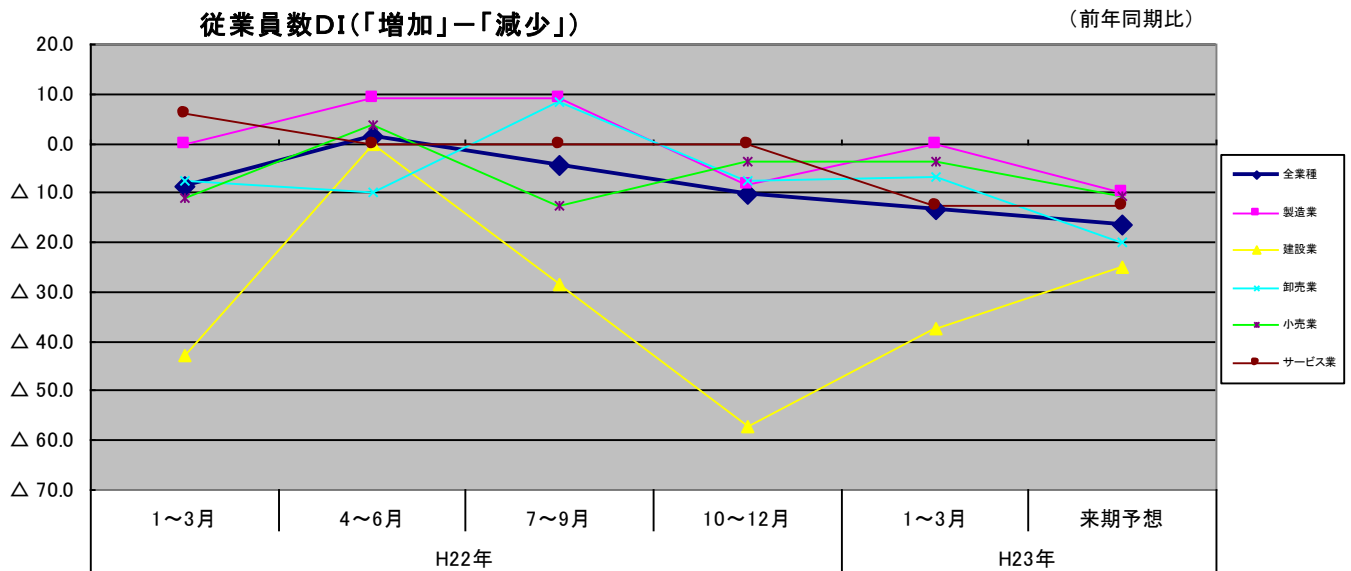


#### 5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△13.4と前期(△10.2)に比べマイナス3.2ポイントとなり、更に減少幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業のマイナス幅が縮小しサービス業が減少に転じた。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H22年				H23年	来期予想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
全業種	△ 8.6	1.5	△ 4.3	△ 10.2	△ 13.4	△ 16.4
製造業	0.0	9.1	9.1	△ 8.4	0.0	△ 10.0
建設業	△ 42.9	0.0	△ 28.6	△ 57.1	△ 37.5	△ 25.0
卸売業	△ 7.7	△ 10.0	8.3	△ 7.7	△ 6.6	△ 20.0
小売業	△ 11.1	3.6	△ 12.5	△ 3.8	△ 3.7	△ 10.7
サービス業	5.9	0.0	0.0	0.0	△ 12.5	△ 12.5

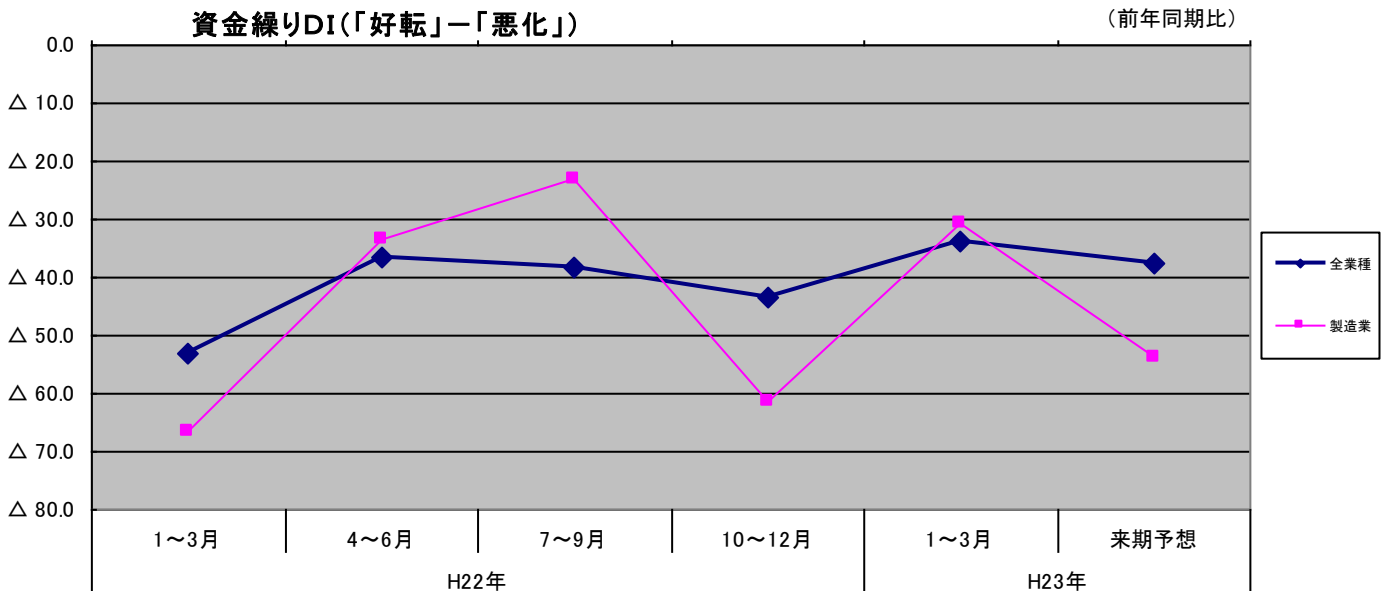


## 6. 資金繰り

全業種のDI値は、△33.7と前期(△43.4)に比べ9.7ポイントマイナス幅が減少した。

製造業はマイナス幅が大幅に縮小し改善した。全業種においても前期よりマイナス幅が縮小した。来期は今期よりは悪化する見通し。

	H22年				H23年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 53.1	△ 36.6	△ 38.3	△ 43.4	△ 33.7	△ 37.5
製造業	△ 66.7	△ 33.3	△ 23.1	△ 61.5	△ 30.8	△ 53.8



## 7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、多くの業種で「需要の停滞」が上位にあげられ、すべての業種において第1位となり内需の停滞が続いていることが分かる。また、建設業、卸売業において「請負単価の低下・上昇難」「販売単価の低下」が第2位となっており、依然としてデフレが続いているものと推測される。多くの業種において原材料や仕入価格が上昇していることが顕著になっており、来期も原油価格の高騰の影響を受け問題となる見込み。サービス業は、「利用者のニーズの変化」が変わらず問題となっており、客の要望に柔軟に対応することが今後も求められる。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	需要の停滞	原材料価格の上昇	製品単価の上昇難	大企業進出競争の激化	原材料・人件費以外の増加
	22.2	18.5	18.5	7.4	7.4
	26.7	10.0	23.3	6.7	0.0
建設業	民間需要の停滞	請負単価の低下・上昇難	大企業進出競争の激化	取引条件の悪化	新規参入業者の増加
	27.3	22.7	13.6	9.1	9.1
	14.3	23.8	23.8	4.8	4.8
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇	メーカー進出競争の激化	その他
	30.8	12.8	12.8	7.7	7.7
	34.6	23.1	3.9	3.9	0.0
小売業	需要の停滞	消費者ニーズの変化	購買力他地域への流出	販売単価の低下・上昇難	大企業進出競争の激化
	23.9	16.3	14.1	13.0	7.6
	18.5	13.0	16.3	15.2	10.9
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	利用料金の低下・上昇難	材料仕入単価の上昇	大企業進出競争の激化
	23.4	19.2	17.0	10.6	6.4
	25.0	20.8	12.5	4.2	10.4